

情

熱

MUSIC

SPORTS&

クロマチックアコーディオンと聞いてピンとこない人も多いだろう。クロマチックとはボタン式のこと、左右に付いたボタンを押し音を出す。標準的なサイズでも10〜12きほどの重さがある。そんなアコーディオンを「相棒」に活動する、かとうかなこが22日、焼津市文化センターでコンサートを行う。

貝で作られた模様やボタンに、布製の花柄の蛇腹。かとうが「おばあちゃん」と呼ぶアコーディオンのアコーディオンは目を奪われるほど魅力的だ。「おばあちゃん」のほかにも、ピンクや黄色などカラフルな色の「ピエコ」や「いくら」など、5台あるアコーディオンに名前を付けて大切にしている。「人それぞれ声が違うように、楽器も音色が違うんです。華やかな音を出すものもあれば、しんがしっかりしたドシっとした

公演 焼津市文化センター 22日

ものもある。だから曲によって弾きわけているんです」

アコーディオンの魅力は「体にくっついているところ」。空気が通ってリードが震える振動が体に伝わってくるのが気持ちいいと言っている。呼吸と一体となっていて、歌う代わりに弾いているんです」と、いとおしそうに相棒を見つめる。

これまでにアルバム4枚をリリース、現在はライブを中心に活動している。22日の焼津公演では、15〜16曲ほどを演奏予定。「オリジナルと、みんなが知っているようなシャンソンなどを交えて構成します。楽しい時間を過ごしてください」

焼津公演は午後7時開演、全席指定3000円(税込み)。問い合わせは同文化センターへ電054(627)3111へ。



「浜松に親せきがいるので静岡県は身近な場所です。よく遠州弁のまねをしました」と語るかとうかなこ。アコーディオンは「おばあちゃん」静岡市駿河区の静岡新聞社制作センター